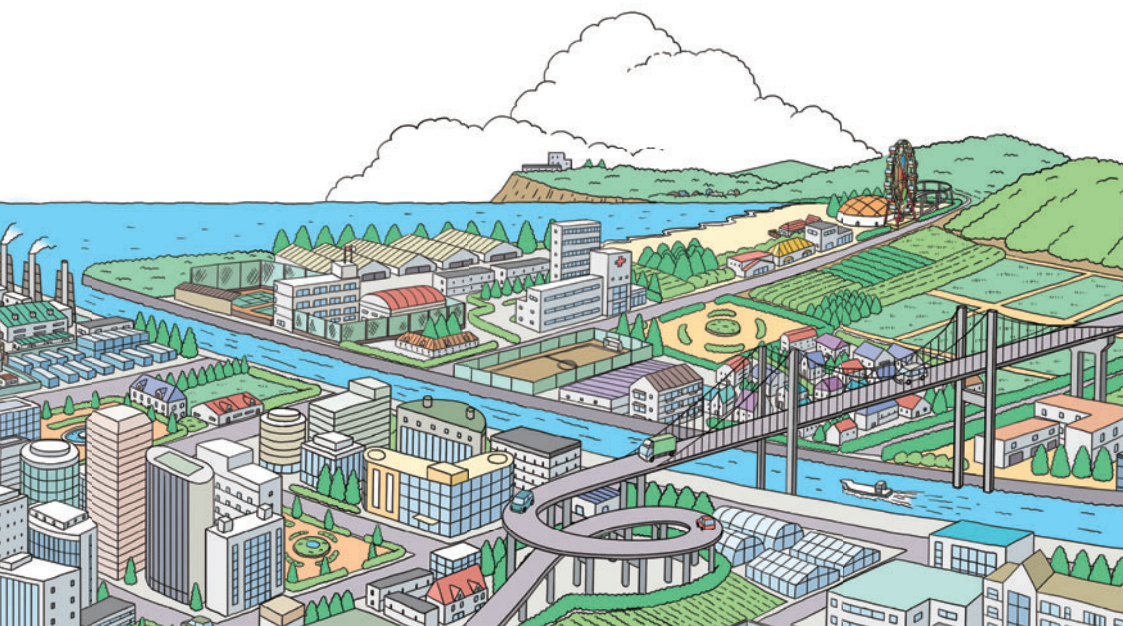


日本特殊陶業グループ



CSR Report 2014

CSR 報告書 <ダイジェスト版>



見えないところで、 見える効果を発揮しています

私たちの製品は、小さなモノが多いのですが、
実はあなたの暮らしに、社会に、
そして環境に大きく貢献しています。

水晶デバイスSAW フィルタ用パッケージ

超小型・薄型を実現し、
通信機器の小型・軽量化に貢献



ジルコニア酸素センサ

空燃比制御の中核部品として
排気ガスのクリーン化に貢献



セラミック工具

摩耗の少ない切削工具で
質の高いものづくりに貢献



イリジウムプラグ

優れた着火性と耐久性で、
低燃費に貢献



航空機用プラグ

過酷な環境下で、
安全・確実な飛行に貢献



骨補填材(バイオセラミックス)

先端医療の現場で、
骨折や骨欠損の修復に貢献



CONTENTS

1 私たちの主要製品

3 私たちの事業活動

5 トップメッセージ

7 特集

7 SHINKA-1

「自動車用酸素センサ」の深化

9 SHINKA-2

「水素社会到来」に向けた新化

11 私たちのCSR

13 CSR推進活動の目標

15 ステークホルダーへの責任と行動

15 お客様とともに

17 株主・投資家の皆さまとともに

18 お取引先とともに

19 従業員とともに

23 地域社会・国際社会とともに

25 地球環境への責任と行動

25 環境を守るために

29 マネジメント

29 コーポレートガバナンス／コンプライアンス

30 リスクマネジメント

事業内容

自動車関連 事業

- ・スパークプラグ
- ・グロープラグ
- ・自動車用センサ

テクニカル セラミックス関連 事業

セラミックス

- ・半導体部品
- ・電子部品
- ・医療関連製品
- ・産業機器部品
- ・機械工具

編集方針

『CSR報告書2014』はさまざまなステークホルダーの皆さまに、日本特殊陶業グループのCSR活動を知っていただきたいとの想いを持って編集しています。

詳細な情報はウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/csr/>

私たちの事業活動

欧州

連結子会社 …… 4 社



アジア・南米・その他

連結子会社 …… 17 社

非連結子会社 …… 1 社

持分法適用関連会社 …… 1 社

持分法非適用

関連会社 …… 3 社

スパークプラグの
世界シェア

No.1

● 製造販売法人

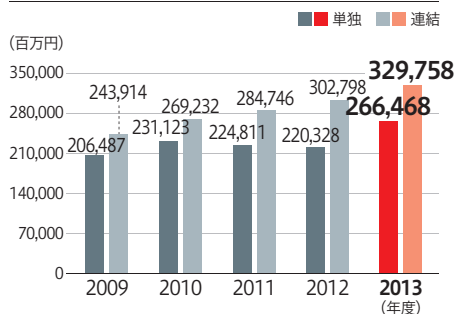
▲ 販売法人

■ その他

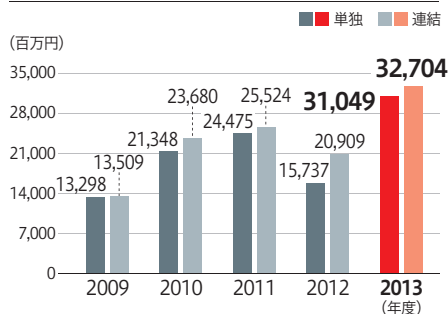


世界各地で、地域と地球に貢献してい

売上高



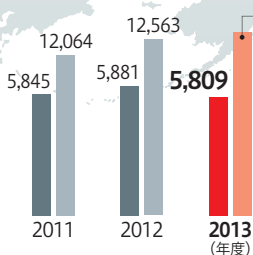
当期純利益



従業員数

(人)

■ 単独 ■ 連結



グループ従業員数

12,760人



北米

連結子会社 …… 4社

日本

連結子会社 …… 9社

非連結子会社 …… 1社

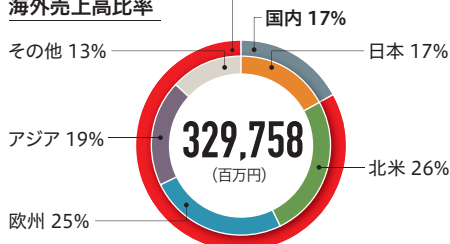
持分法適用関連会社 …… 2社

持分法非適用関連会社 …… 1社



海外 83%

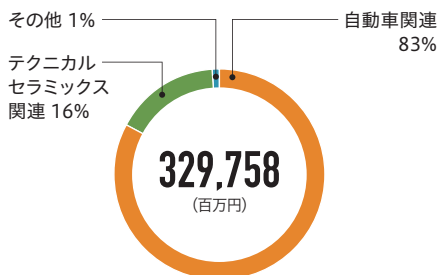
海外売上高比率



329,758
(百万円)



セグメント別売上高



329,758
(百万円)

会社概要 (2014年3月末現在)

社名	日本特殊陶業株式会社
本社	名古屋市瑞穂区高辻町14-18
創立	1936年(昭和11年)10月26日
資本金	478億6,927万円
事業内容	1. スパークプラグおよび内燃機関用関連品の製造、販売 2. ニューセラミックスおよびその応用商品の製造、販売、その他
グループ	子会社36社(国内10社、海外26社) 関連会社7社



「深化」から 「新化」のステージへ

事業・製品を通じて
新たな社会的価値を創造します

日本特殊陶業株式会社
代表取締役社長 社長執行役員

尾堂 真一



「日特進化論」

日本特殊陶業グループは2010年度に2020年のあるべき姿としての長期経営計画「日特進化論」を策定しました。『ものづくり企業』『高収益率企業』『発展的企業』『人“財”企業』であることを目指し、これらを実現することで世界中の皆さまに真の価値「真価」を提供していきたいと考えております。日特進化論のプロセスを3年ごとに「深化」「新化」「進化」のステージに分け、2012年度までの「深化」のステップでは、会社基盤となる組織体制や風土改革に力を入れ、執行役員制度の導入、新人事制度の策定に取り組みました。

2013年度からスタートした「新化」の3年は、「深化」の3年で培った基盤をベースに「意思決定」と「執行」のスピードを上げ、新商品、新製品の立ち上げに向けて取り組んでいます。

新・中期経営計画の全体像



「日特進化論」の折り返し地点「新化」2年目

2014年4月からは新人事制度を導入し、当社グループを取り巻く環境の変化に適應できる真の人材育成を目指しています。また、多様な人材が活躍できるダイバーシティの取り組みとして、まずは女性の活躍推進の仕組みを整備しています。性別、国籍、年齢、障がいの有無を問わず、向上心のある人、チャレンジする人を積極的に登用していきます。

自動車関連事業では、プラグ・センサ事業のさらなる強化を目指し、当社のあらたな“ものづくり哲学”の礎となる革新・革命に取り組んでいます。世界各国の環境規制の強化に対応するとともに、お客様にスピーディかつ安定的に製品供給できる体制を整備しています。

テクニカルセラミックス関連事業では、オーガニックIPパッケージ事業で(株)イースタンとの資本・業務提携によりファブレス化による新しいビジネススタイルを確立しました。利用が広がるスマートフォンやタブレット端末の進化に対応できる製品を提供していきます。

そして、当社のコア・テクノロジーを発展させ、環境・エネルギー、EV関連へ果敢に挑戦していきます。SOFC(固体酸化物形燃料電池)や燃料電池車向け水素漏れ検知センサの開発、次世代自動車の共同開発への積極的な参画など、今後とも本業を通して未来の環境対応と来たるべき低炭素社会に向けてニーズを先取りした製品を提供していくことで持続可能な社会の発展に貢献していきます。

CSR経営の推進

当社は2010年11月にCSR委員会を設置し、企業が持続的発展を続けていくために必要な取り組みは、CSR方針に照らしてCSR委員会で目標を定め、改善を進めています。

基盤となるコンプライアンスの実践では、コンプライアンス意識調査をもとにした職場環境の醸成やヘルプラインの啓蒙など諸課題に取り組んでいます。

また、大規模地震を想定したBIA(事業影響度分析)を実施し、BCP(事業継続計画)を策定して改善を進めています。

個人投資家の皆さまには、説明会を増やし、各種ご意見をいただくなどコミュニケーションを促進。お取引先には、CSR調達ガイドラインを発行して展開しました。

地域への取り組みとしては、2012年にネーミングライツを取得した日本特殊陶業市民会館(名古屋市)にて、12月に無料のファミリーミュージカルを開催。東日本大震災で被災され名古屋で避難生活を送っている方々や児童養護施設の子どもたち、地域の方々をご招待しました。今後も地域貢献の一環としてこのようなイベントを企画していきます。

この度、2013年度の活動をまとめた『CSR報告書2014』を発行いたしました。

皆さまの忌憚ないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

1 「自動車用酸素センサ」の

三元触媒※の排ガス浄化性能を制御し、
大気汚染防止に貢献します。

※ 排ガス中の一酸化炭素(CO)、炭化水素(HC)、窒素酸化物(NOx)を同時に酸化もしくは還元して除去する排ガス浄化装置。

深化

酸素センサの変遷

1980年代～

1982年に発売した
自動車用酸素センサ
初期の酸素センサ

2000年代～

より精密な理論空燃比制御を
可能とする全領域空燃比センサ
ディーゼルエンジンへの適用も進む
全領域空燃比センサ

最も採用実績が豊富な
従来型酸素センサ
活性時間は15秒
従来型酸素センサ

高性能、高信頼性を
実現した新型酸素センサ
活性時間は5秒
新型酸素センサ



開発担当からの声

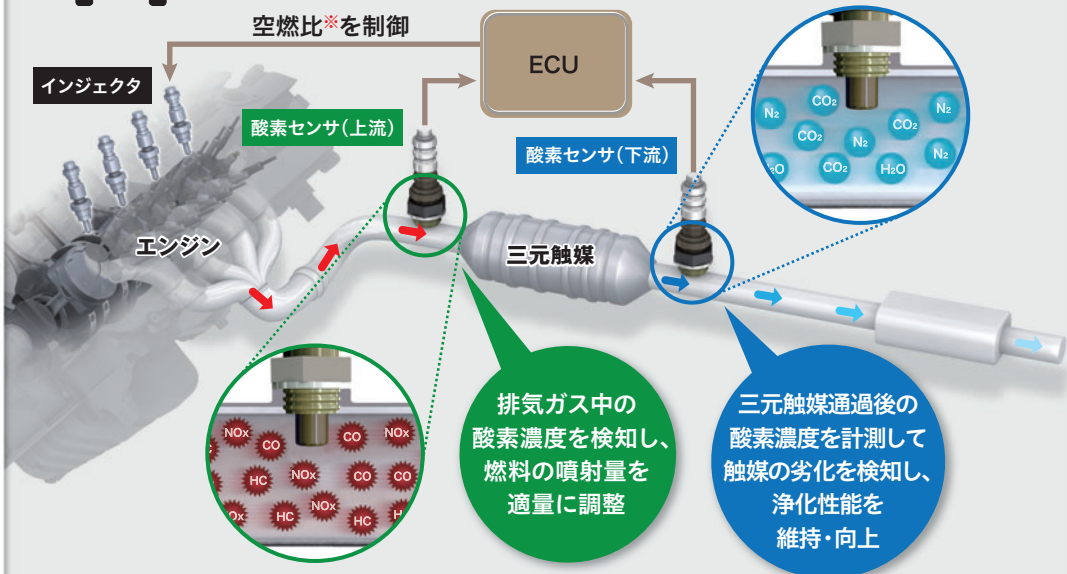
自動車関連事業本部
センサー事業部 第2技術部 植松 大輔

新しい要素技術の確立を目指して

酸素センサの素子の機能を発揮させるには、貴金属である白金(Pt)が必要ですが、非常に高価な金属であり、センサのコストアップ要因になります。センサとしての機能面の保証とコスト削減を両立すべく、白金の必要最小量の見極めに苦労しています。内燃機関の歴史に比べ酸素センサの歴史はまだ浅く、その分使用方法や開発ターゲットにも未踏分野が残されています。新規分野へ対応するためにも要素技術を確立していきたいと思っています。

排ガス浄化性能を制御

※ エンジン中の空気(酸素)と燃料の混合比率。排気ガスが完全燃焼する(最もクリーンになる)時の空燃比を「理論空燃比」と呼びます。



大気汚染防止

酸素センサはエンジン始動後、できるだけ短時間で機能を発揮(活性化)することが求められます。当社の新型センサの活性時間はわずか5秒。世界的に厳しくなる排ガス規制にも対応します。



厳しいNOx規制に対応する「NOxセンサ」も提供しています

近年の厳しいNOx規制値に対応するには、高精度なNOx制御が必要です。

NOxセンサは、排気ガス中のNOx濃度と酸素濃度をリアルタイムに測定し、ガソリン直噴エンジンやディーゼルエンジンのNOx制御を通じて、省エネとクリーンエアに貢献しています。



詳細は
WEBへ

<http://www.ngntk.co.jp/csr/feature01.html>

2「水素社会到来」に向けた

水素利用※時の安全確保のために、
「水素漏れ検知センサ」を開発しました。

新化

※ 水素は、燃料電池車(自動車、フォークリフト)、水素ステーション、家庭用燃料電池などへの利用が期待されています。

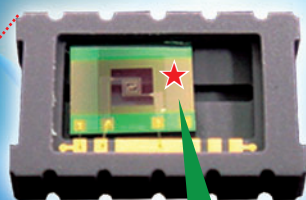


排出ガス※が発生しない
クリーンエネルギーとして
期待される水素

※ CO₂、NO_x、SO_x、PM

★新開発の熱伝導式素子

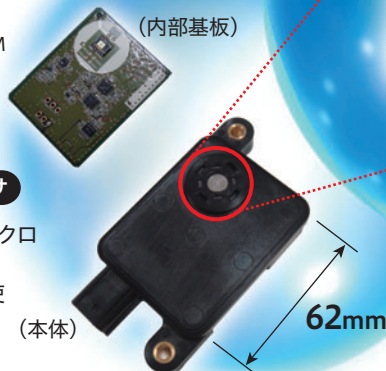
わずかな熱伝導変化にも
敏感に反応するMEMS素子



厚さ1ミクロンの
ヒーターで
高速起動

水素漏れ検知センサ

高度なMEMS(マイクロ
マシン)加工技術や
回路設計技術を駆使



開発担当からの声

新規事業推進本部 新事業戦略部 市川 大祐

FCVの安全を守る「劣化しないセンサ」の開発に向けて

水素を使用して走るFCVにおいて、水素漏れを素早く正確に検知することは、運転者の命に関わる重要事項の一つです。そのため開発では精度の良い検知と同時に、「劣化しないセンサ」を作ることが求められます。当社の水素漏れ検知センサはまだ開発途中ですが、他社とは違う検知方式を採用し、耐久性は他社より優れていると自負しています。まずはFCVへ搭載されるセンサを開発して量産化につなげ、この分野でのシェアNo.1を目指していきます。

利用時の安全確保

水素は無色透明で匂いがなく、空気中に漏れても運転者は気づくことができません。燃料電池車(FCV)の安全走行には、わずかな水素の漏れも素早く検知できる高精度のセンサが不可欠です。

もしも、空気中に漏れた場合・・・
ガソリン



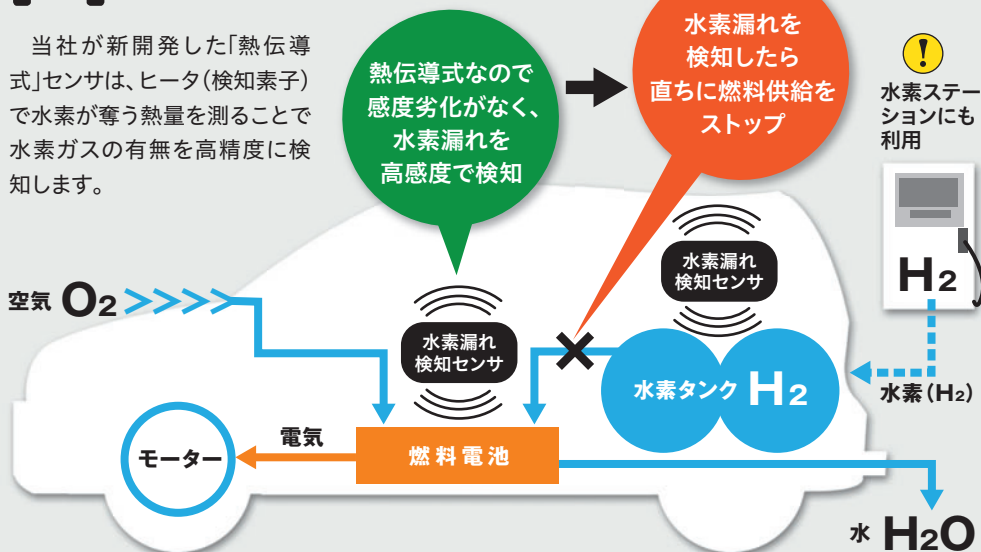
水素



漏れても気づかない

新方式で高感度・高速起動

当社が新開発した「熱伝導式」センサは、ヒータ(検知素子)で水素が奪う熱量を測ることで水素ガスの有無を高精度に検知します。



先進の電気自動車開発プロジェクトにも参画しています

当社は、電気自動車(EV)の分野へもアプローチを広げています。SIM-Drive社とFOMM社のEVプロジェクトに参画するなど、最先端のEV技術情報を収集・蓄積して研究開発につなげています。



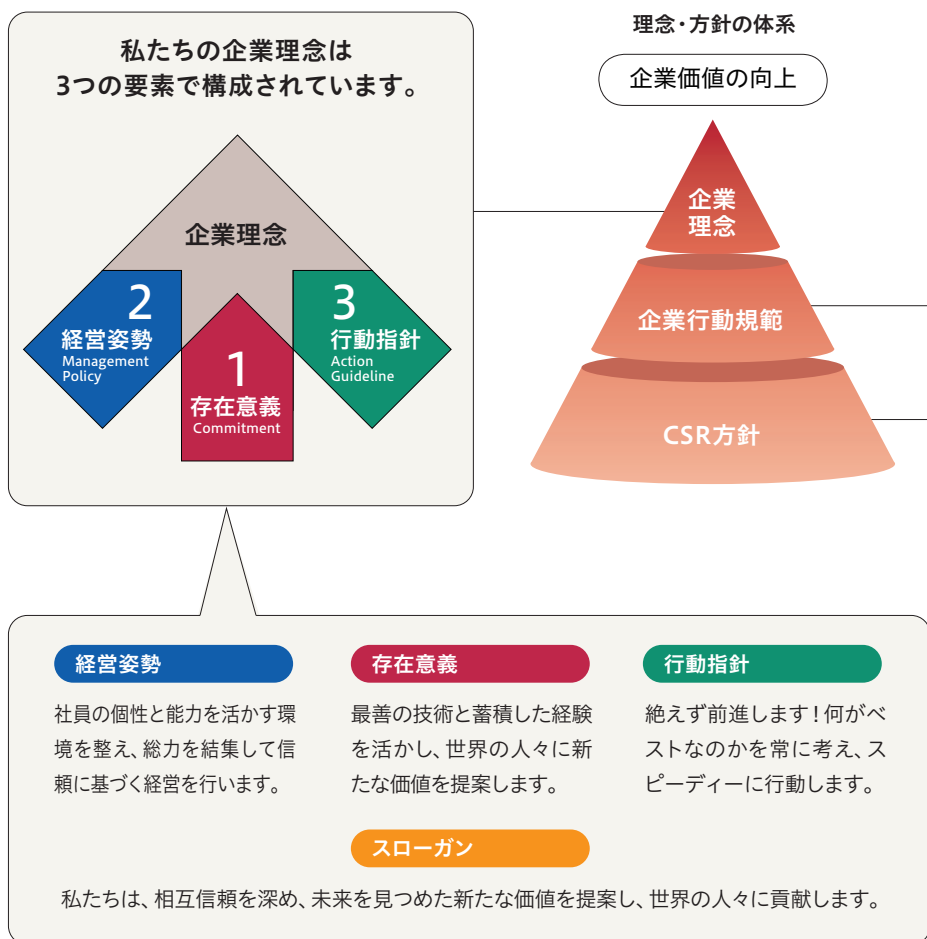
SIM-Drive社が
先行開発したEV
「SIM-CELL」

FOMM社が
開発中の小型EV



<http://www.ngkntk.co.jp/csr/feature02.html>

私たちは、企業理念を実現するため、
企業行動規範、CSR方針に基づいて
行動します





企業行動規範

日本特殊陶業株式会社は、「相互信頼を深め、未来を見つめた新たな価値を提案し、世界の人々に貢献します。」をスローガンとした企業理念を実現するため、次の10原則に基づき、社会的良識をもって行動する。

1. 国の内外を問わず、人権を尊重し、全ての法律、国際ルールおよびその精神を遵守する。
2. 最善の技術と蓄積した経験を活かし、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮しながら、社会的に有用かつ安全な商品・サービスを提供し、消費者・顧客の満足と信頼を獲得する。
3. 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行う。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。
4. 株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを重視し、企業情報を日常的な広報活動を通じて公正に開示する。
5. 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的かつスピーディーに行動する。
6. 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
7. 従業員の多様性・個性を尊重し能力を活かせる安全で働きやすい環境を整える。
8. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは断固として対決する。
9. 国際的な事業活動においては、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
10. 経営トップは本規範の精神を率先垂範し、社内への徹底、グループ企業や取引先への周知および社内体制の整備を行うとともに、倫理観の涵養に努める。

CSR方針(抜粋) (2011年4月1日制定) ※ 各方針に「行動指針」を設定しています

企業理念に基づき、当社グループの経済・環境・社会活動をグローバルな視点で再点検し、社会への説明責任を果たし、企業価値の向上ひいては社会の持続的発展に寄与することを「私たちのCSR」と考えて、分野別に10の方針を定め、実践します。

リスクマネジメント方針

私たちは、災害、事故、新たな感染症などのさまざまなリスクに備えます。万一発生した場合には、ステークホルダーへの影響を最小限に留めるよう行動します。また、事業を円滑に復旧・継続し、ステークホルダーの信頼維持に努めます。

コンプライアンス方針

私たちは、企業が社会の一員であることを認識し、企業倫理を高め、法令、国際ルール、社内規則を遵守し、国際社会から信頼される企業を目指します。

情報セキュリティ方針

私たちは、保有する情報資産を経営資源の一つと位置づけ、その保護と有効活用を行うことで、事業の健全な維持、発展を目指します。

基本品質方針

私たちは、「お客様第一」、「総員参加」、「たえまなき改善」につとめ、社会に「良品」を提供し続けます。

情報開示方針

私たちは、世界の人々に愛され親しまれる企業であるために、透明性の高い経営を目指し、公正な情報開示を行います。

調達方針

私たちは、良品主義の下、世界最速調達の実現を目指しています。その実現に向けてお取引先との連携を強化し、CSRの取り組みをサプライチェーン全体で推進するとともに、原材料・部品等の調達にあたっては、次の考えに基づき、適正な購買取引を実践します。

人財方針

私たちは、従業員は最大の経営資源であると認識し、従業員の多様性・個性を尊重し、豊かな人材を育成することで、当社グループの発展を目指します。

労働安全衛生基本方針

私たちは、人間尊重を基本とし、労働安全衛生を企業活動の出発点と位置付け、行動します。

社会貢献方針

私たちは、経営資源を有効に活用し、「良き企業市民」として、社会に貢献します。

環境方針

私たちは、持続可能な社会の構築に寄与するため、総員参加のもと、すべての事業活動を通じて、環境保全活動を積極的に推進します。

当社グループの重要な社会的責任を明確にしました

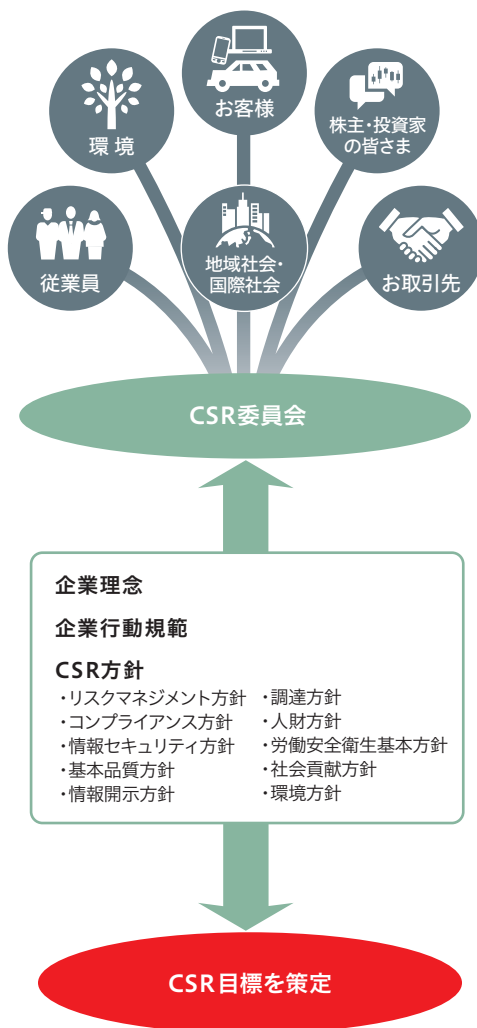
企業理念、企業行動規範、CSR方針をもとに
ステークホルダーの期待・要請に配慮したCSR目標を設定。

企業理念に基づいて当社グループの経済・環境・社会活動をグローバルな視点で再点検し、社会に説明責任を果たすことで、企業価値の向上、ひいては社会の持続的発展に寄与することを「私たちのCSR」と考えます。

2010年に設置したCSR委員会は、CSR方針を実践するために年度重点課題を決定するほか、各専門委員会・部会、各部署のCSRに関する活動の把握、評価、提言を行い、全体最適なCSR活動による基盤強化を目指しています。

私たち日本特殊陶業グループは、お客様、株主・投資家の皆さまをはじめとするさまざまなステークホルダーと関係し、支えられて成り立っています。そのため、当社グループが今後も持続可能な企業であるためには、ステークホルダーの皆さまの期待・要請に応えながら、ビジネスの成長を目指していく必要があります。

2014年度の目標設定にあたっては、各専門委員会・部署がステークホルダーの皆さまからの期待・要請を認識したうえで、企業理念、企業行動規範、CSR方針に照らし合わせて目標を起案し、CSR委員会で承認しました。





CSR目標

取り組み分野		中期目標 (2015年度目処)	担当部門	頁
マネジメント	全社的CSRマネジメント	・グローバルでのCSRのPDCA推進 ・グローバルでのCSR浸透活動の推進	CSR推進室	▶13p
	コンプライアンス			
	全社的推進体制	・グローバルでの推進体制の整備と違反対応の徹底 ・未然防止活動の実施 ・意識調査などによる定期的な実態把握	コンプライアンス委員会	
	機密管理	・全社的機密管理のPDCAの継続的改善およびグローバル展開	機密管理委員会	
	輸出管理	・輸出管理の専門教育と監視体制の強化	輸出管理委員会	
	情報セキュリティ	・グローバルでのネットワークセキュリティ標準の策定	情報システム部	
	知的財産権の尊重・保護	・知的財産権に関する機密管理・コンプライアンス体制の確立	知的財産部	▶29p
	リスクマネジメント			
	BCP/BCM	・全社のBCPの再点検・整備とBCMへの移行 ・グローバルでの調達BCPの構築 ・IT-BCP施策の実践	BCM.WG 調達本部 情報システム部	▶30p
	全社的リスクマネジメント	・当社に適合した全社のリスクマネジメントの構築	リスク管理WG	
お客様とともに	安全・品質	・ものづくり力強化のための全社的な製品、業務、仕組みの継続的改善	全社品質委員会	▶15p
株主・投資家の皆さまとともに	情報開示	・財務報告に係る内部統制状況の維持・向上	経理部	
		・グローバルでの分かりやすく親しみやすい情報発信	広報室、CSR推進室	▶17p
		・ステークホルダーの期待と社会トレンドの変化を捉えた情報発信	CSR推進室	
従業員とともに	雇用・人権	・経営戦略・経営方針を実現するための人事制度・教育体系の確立 ・職能別人材育成システムの構築 ・人材採用マネジメントの確立 ・グローバルでの人材登用の推進	人事部	▶20p
		・ダイバーシティの推進		▶19p
	労働安全衛生	・新リスクアセスメントの浸透と定着 ・安全に行動できる人づくりとグローバルでの安全文化の醸成 ・健康リスクを最小化する体制・意識づくりとシステムの構築	安全衛生委員会	▶21p
		・安全に精通した人づくりと教育体系・システムの構築		▶21p
	CSR調達	・お取引先評価の新基準の運用 ・グローバルでのCSR調達の展開	調達本部、CSR推進室	▶18p
				▶18p
地域社会・国際社会とともに	社会貢献	・社会貢献活動の充実	総務部門、CSR推進室	▶23p
環境を守るために	環境	・エコビジョン2015の達成と環境経営のグローバル化	環境委員会	

お客様とともに



ハイライト

SDCAで現場力を向上させ あたりまえに良いものづくりを目指します



現場 SDCA 活動

仕事と作業の標準化(「S」Standardize)は、当社の総合的“質”経営(TQM)を支える重要な役割となっています。ものづくり企業として、製造現場における日常管理を安定的に確実にを行うための現場SDCA(標準化・実践・検証・見直し)活動を全社で推進しています。いつもと違う“職場の異常”への気付きを促し、風通しが良く、ムリ・ムダ・ムラのない日常を維持することで、ものづくりの“質”向上につなげています。

あらゆる作業の
標準化を
強力に推進中！

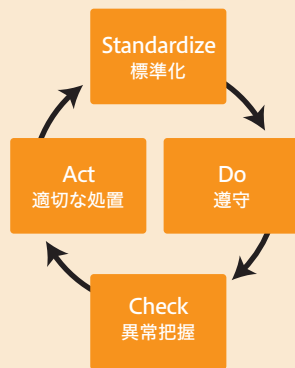
活動推進者の声

総員参加での良品づくりを目指し、 作業の標準化に取り組んでいます



SE製造部では、静電チャックに使用するシリコンの塗布量バラツキを低減させるため、個人のカンやコツに依存してきた部分を定量化し、印刷設備・治具の段取りから実作業まで、あらゆる作業の標準化に取り組んでいます。この活動を通じて所属メンバーの知識・技能アップに加え、ものづくり現場に必要な品質への意識、職場改善風土の醸成、さらには総員参加での良品づくりを目指しています。

NTKセラミック(株) SE製造部
村田 幸寛





NQC活動(小集団活動)を各職場で推進



一般専門委員によるアドバイス

NQC活動の
さらなる活性化に向け、
専門委員会を
設立！

QCサークル指導士の声

QCサークル指導士として 専門委員会に加わりました

事務部門はテーマ選定や現状把握、効果検証が難しいなど、活動しづらい面があります。しかし、事務部門特有の問題・課題に対して、これまでの知識・経験やノウハウを活かし、柔軟な発想やユニークなアイデアで継続的に指導・支援を行い、事務部門のNQC活動の活性化に貢献したいと思います。

人事部

加藤 庸子



人材育成や職場力向上を目的に各職場で身近な問題を継続的に解決するNQC活動を活性化しようと、2013年度にQCサークル指導士と一般専門委員で構成する専門委員会を発足させました。特に一般専門委員は、2年間の活動(研修会講師、世話人、講評者、社外研修受講など)を通じてNQC活動に関する知識・実践スキルを身につけています。

海外法人で校正技能の 認定教育を実施

計測機器は品質・ものづくりの基準です。また、信頼できる測定結果を得るためには、計測機器の校正は欠かせません。そこで、グローバル教育支援の一環として、校正技能の認定教育を展開しています。すべての海外工場で正しい校正技能が定着するように定期的に全工場を回り、日特グループに校正技能認定を定着させます。そして世界同一品質の高精度なものづくりに貢献していきます。

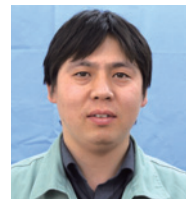
海外法人の品質保証責任者の声

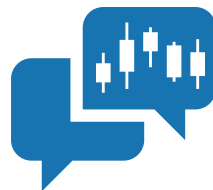
計測管理の重要性を再認識しました

海外製造責任者会議で計測管理の重要性を改めて認識し、計測機器の校正技能教育の支援を依頼しました。計測機器管理に関するガイドラインの提供、校正技能認定、現場計測者のトレーニングなど、品質確保につながる有意義な内容でした。引き続き、支援を受けながら、ものづくり力向上につなげていきたいと思っています。

上海特殊陶業(有)
品質保証部

俞 振英





株主・投資家の皆さまとともに

ハイライト

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを促進しています



個人投資家向け説明会

当社は、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視し、その促進に努めています。2013年度は、国内の個人投資家の皆さまへの説明会を増やし、大都市圏以外の中核都市も含めて実施しました。今後も、投資家の皆さまに直接説明する機会を増やしていきます。

大都市以外にも
個人投資家向け
説明会を拡大！

国内外へ財務情報をタイムリーに発信

これまで決算説明会で使用するプレゼンテーション資料は、国内向けウェブサイトのみ掲載していましたが、2013年度本決算発表から、国内外とも同時にウェブサイトに掲載する体制を整えました。日々のIR活動においても、国内外問わず、情報の迅速な発信に努めていきます。



IR担当者の声

「日本特殊陶業」ファンの拡大に 尽力していきます

当社の全国的な知名度は、あまり高くない現状ですが、説明会でお話をするとう興味を持たれる方も多く、IR活動の重要性を強く感じています。今後も、さまざまな活動を通じ、「日本特殊陶業」ファンの拡大につなげられるよう尽力します。



広報室
北河 広視

お取引先とともに



<http://www.ngkntk.co.jp/csr/investor.html>

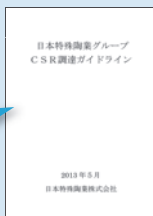
<http://www.ngkntk.co.jp/csr/business.html>

ハイライト

お取引先の状況を調査し CSR調達を推進しています

2013年5月に『CSR調達ガイドライン』を制定してウェブサイトで公開し、7月に英文版も発行しました。会社方針説明会で発表するとともに、お取引先のCSRに対する取り組み状況を把握するため、チェックリストを用いて調査・分析を実施しました。

わかりやすい言葉で
理解を促進する
CSR調達ガイドライン



会社方針説明会

お取引先評価制度の改善

以前よりお取引先の品質、納期、コストなどを評価する仕組みがありましたが、より公正、公平で、開かれた制度に改善しました。その評価において特に優秀なお取引先を、会社方針説明会で表彰しました。



日頃の
お取引組みに
感謝！

担当者の声

フェアでオープンな評価を行います

お取引先によって、取引の大きさ、品目など千差万別ですので、フェアでオープンな仕組みを作るのは大変です。お取引先にとって通知票とも言える評価結果ですので、その責任の重さを感じながら、日々取り組んでいます。

調達本部 取引先開発室
加藤 直機



従業員とともに



ハイライト

女性活躍推進を経営戦略の一つに掲げ アクションプランを立案・実施しています

女性活躍推進を経営戦略としてトップダウンで進めています。まずは管理職の「意識を変える!」をテーマに、2013年度は管理職全員を対象とする研修を行いました。また、各部署の部門長を推進者としてアクションプランを立案し、実施しました。女性総合職向けの研修も行いました。グループディスカッションを通じて、部署を超えたネットワークが構築できたほか、社長、副社長、専務と直接話すことで、会社の本気を肌で感じてもらう機会となりました。

「女性活躍推進には皆さんの協力が必要です」と意識変革



部長講演会での柴垣副社長の講話



尾堂社長と女性総合職との座談会

プロジェクトリーダーの声

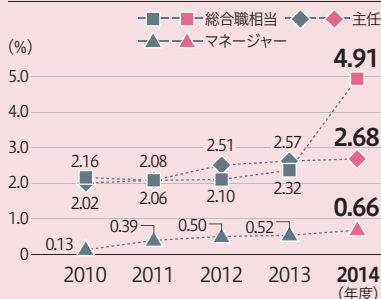
従業員全員が活躍できる会社を目指しています

当社には優秀な女性がたくさんおり、それを活かさないのはもったいない。従業員全員が気持ち良く働き、活躍できる会社になるといいと思います。 経理部 **大塚 悦子**



DIAMOND プロジェクト女性メンバー (右:大塚)

女性総合職と女性役職者の割合





新人事制度を策定し、運用を開始

新人事制度を2014年4月から運用開始しました。この新人事制度は、「日特進化論」にある10年後の日特像の実現、および従来の人事制度の問題点解決を目的として策定したものです。

多様な人材が育ち、活躍できる環境を整備し、価値創出に向けた取り組みに対して適切に報いていくとともに、事業状況の変化に応じて適時適切に人材を再配置していきます。



人事制度ワーキンググループ

人事担当者の声

会社を変えるくらいのチャレンジを期待しています

従来の人事制度からは大きな転換であり、まさに変革を成し遂げる人材が求められています。基盤となる制度の改定に続き、今後は従業員一人一人の自己変革が求められていると認識しています。

人事部
高橋 剛



「日特進化論」を
推し進める
新人事制度の運用が
スタート!

主な人事制度

- ・職群・資格・役職制度
- ・賃金・賞与・退職金制度
- ・年俸制
- ・評価制度、目標管理制度
- ・雇用継続制度

人“財”育成のための多様な教育・訓練プログラム

各職群・資格役割に応じて必要な知識・スキルを身につける階層別研修に加え、ものづくり教育訓練課と連携した他事業部へ異動する人向けの職場風土や必要な業務スキルを習得するための研修、品質教育、環境・安全教育、ものづくり教育、グローバル教育、キャリア支援など、幅広いプログラムがあります。2013年度は延べ6,223名の従業員が研修を受講しました。



多彩な教育・
研修に
6,223名が参加!

従業員とともに



ハイライト

危険を疑似的に体感する教育を実施し、安全に行動できる人づくりをしています



挟まれ事故の体感

挟まれ事故の怖さや指差呼称の有用性などを体感できる装置を利用し、危険を疑似的に体感する教育を実施しています。2013年度は、装置を増設し、体感できる危険の種類を増やしました。また、KY(危険予知)道場を新設し、等身大の人形を見て行う立体KYトレーニングを開始しました。



立体KYトレーニング

危険を予知し、
行動に起因する
災害を予防！

実習担当者の声

不幸な仲間を出さない、出させない！笑顔がある職場作り！



安全教育の冒頭でも受講者に、このフレーズを紹介しています。

危険に対する感性・感受性を磨くことはもちろんですが、研修で学んだことを安全で快適な職場づくりに少しでも役立ててもらいたいと思っています。

ものづくり力整備部 田辺 順一





職場とともに取り組む安全衛生委員会活動

安全衛生委員会活動の一つとして、安全安心な職場づくりを目指し職場巡視活動を実施しています。各職場に他部署の安全衛生委員が訪問し、危険箇所の洗い出しから、恒久対策、衛生管理の見直しなどの改善活動を行っています。他部署の委員が巡視することで、各部門の取り組みや文化を共有することができ、職場の安全衛生意識、レベルの向上を図っています。



挟まれ事故の体感

安全衛生委員会事務局担当者の声

安全文化の形成を目指して 巡視しています

安全意識高揚のため、ミドリのベストを着用した委員が巡視しています。巡視では委員から不具合箇所を指摘するだけでなく、職場からの相談も受け、職場と委員が協力し、対策を検討しています。



環境安全部
田ヶ原 誠

毎月1回、
労使一体となった
安全衛生巡視活動
を展開

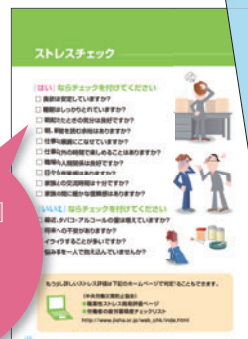
主な点検項目

- ・危険源の露出
- ・保護カバーの設置
- ・エリアセンサーの設置
- ・有害物への暴露防止
- ・局所排気装置の設置状況
- ・作業環境の確認

メンタルヘルスへのケアを強化

社内外の研修によるラインケア教育とともに、セルフケアの啓発や『セルフケアハンドブック』のストレスチェック表を活用して、セルフケアの重要性を周知しています。また、疾病の未然防止ならびに自己管理の周知を図るため、社内講習会を実施しています。不調を感じた従業員が相談できる電話窓口を開設するなど、心の健康づくりに努めています。

『ハンドブック』
を活用し、
セルフケアの
重要性を周知





地域社会・国際社会とともに

ハイライト

民工子弟学校で授業を行い 交通安全と環境保護の大切さを伝えました



授業中

上海特殊陶業(有)は、自動車産業に携わる企業として交通事故を減らしたい、また、「地球に優しく」という意識を浸透したいとの思いから、従業員が民工子弟学校を訪問して交通安全と環境保護の授業を行いました。5校で計数百名の生徒が授業を受けました。



イラストを多用した
テキストを作成して
配布

社会貢献担当者の声

児童の安全を見守る活動を 続けています

2013年から民工子弟学校で、交通安全・環境保護教育を始めました。児童が交通安全に注意し、環境保護の重要性を覚えることを期待しています。2014年から2校増やし、余裕がある日は私たちが学校近くの交差点などに立って児童が安全に帰宅するよう見守りたいと考えています。

上海特殊陶業(有)管理部

蒋冬輝



授業後



国内外で地域に根差した社会貢献活動を展開



日本特殊陶業(株)

ミュージカルイベントを主催し、東日本大震災で被災されたご家族や地域の子どもたちを招待しました。



日本特殊陶業(株) 小牧工場

工場前にある歩道橋の命名権を取得し、事故防止を願って「につとく岩崎原おもいやり歩道橋」と名付けました。



日本特殊陶業(株) 伊勢工場

近隣の小学校の社会科見学を受け入れ、工場概要を説明し、ノックセンサの工程を案内しました。



日本特殊陶業(株) 宮之城工場

町内の小学生を対象とするタグラグビー大会において、ラグビー部員によるラグビースクールを開催しました。



メキシコNGKスパークプラグ(株)

ハリケーン・イングリッドと熱帯低気圧・マヌエルによる洪水に遭った人々に食料や飲料などを寄贈しました。



南アフリカNGKスパークプラグ(株)

失業と貧困の原因に教育環境の未整備があることから、教育訓練を行うプログラムに出資しています。



日本特殊陶業(株) 小牧工場

自動車産業に携わる企業として、定期的に街頭に立ち、ドライバーや通行者に交通安全を呼びかけています。



マレーシアNGKスパークプラグ(株)

会社や工場周辺地域の環境を維持するため、従業員が定期的に清掃を実施しています。



英国NGKスパークプラグ(株)

若いライダーを支援するモトクロスチャレンジプログラムに、衣類や製品などを提供しています。



環境を守るために

ハイライト

環境・省エネに配慮した 新工場が完成しました



(株)日特スパークテック東濃二野本社工場が2014年の4月に稼働を開始しました。この工場は「人と環境に優しい工場」をコンセプトに、省エネモデル工場として設計されました。採光と効果的な熱排気を両立するモニター屋根の採用や、気化式送風機の導入による空調電力の削減、集塵排気への外気導入による室内空調負荷の低減など、環境・省エネ対策を実施しています。また、屋根貸しによるメガソーラーの設置など環境にも配慮しています。

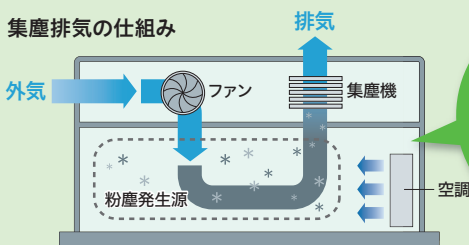
生産品目

スパークプラグ用
絶縁体

生産能力

約1,350万本/月
(段階的に生産能力を増強)

集塵排気の仕組み



集塵排気用に
外気を打ち込み、
捨てる空調空気を
低減

担当者の声

環境にも人にも優しい工場へ

これまで省エネに配慮した設備を導入する場合は、システムが複雑になることで作業者に負担がかかっていました。今回は作業者が保守管理しやすい機器やシステムを選定し、省エネに配慮した設備システムの導入と保守管理が行いやすい設備の共存を目指しました。

工務部 森下 勇貴



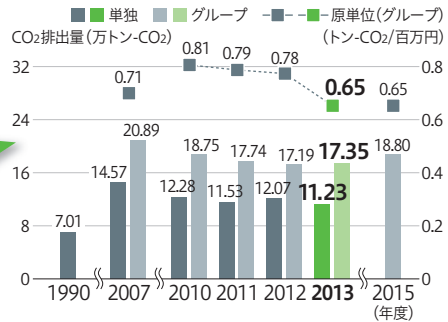


CO₂排出量の削減目標を達成

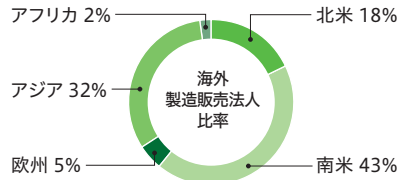
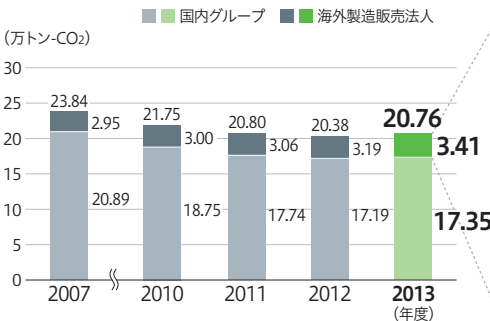
2013年度のCO₂排出量は17.35万トンであり、2013年度目標18.2万トンを達成しました。製造工程におけるエネルギー転換、設備の更新(省エネタイプ)、製造条件見直しによる省エネ効果が要因です。

エネルギー転換や
設備更新などを
推進

エネルギー起源CO₂排出量の推移 (オフィス・工場)



CO₂排出量の推移 (国内グループ+海外製造販売法人)



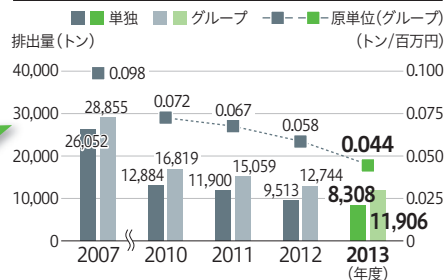
※ 購入電力のCO₂排出係数については、GHGプロトコルの各国ごとの係数を使用しています。燃料関係は日本と同じ係数を使用しています。

廃棄物排出量を削減

2013年度の廃棄物原単位は0.044トン／百万円でした。製造工程におけるセラミック汚泥排出量の削減や、工程歩留り向上などの要因により、2007年度に比べて55%改善しました。

製造工程での
セラミック汚泥
排出量を削減

廃棄物排出量の推移

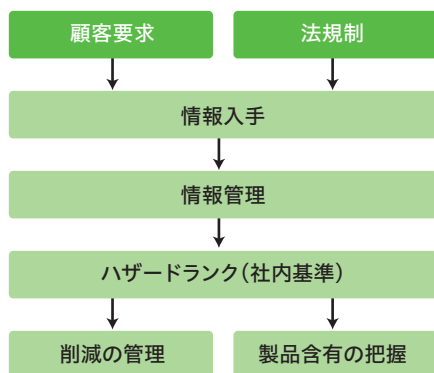


環境を守るために

各種国際規制に対応し、化学物質を確実に管理

欧州のELV指令、RoHS指令、REACH規則をはじめとする規制やお客様からの要求に対応するため、環境負荷物質にハザードランクを設定しています。ランクごとに取り扱い基準を定め、製品非含有と使用削減の管理を徹底しています。

管理体系



管理担当者の声

法規制と顧客要求を仕事の仕組みの中へ

環境安全部からの法規制情報と、お客様からの規制物質に関する要望を部門内に展開し、環境に配慮した製品を作る仕組み構築の手助けをしています。



半導体事業部 第1技術部
関戸 圭治

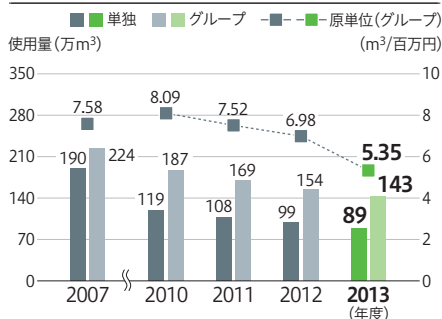
ハザードランクを設定し、
化学物質を適切に
管理

水使用量の
原単位を
2007年度から
29%改善！

上水、井水の使用量を削減

2013年度の水使用の原単位は5.35m³/百万円でした。製造工程におけるリサイクル水の使用による節水や稼働台数の調整による節水、製造条件変更による節水などの要因により、2007年度に比べて原単位で29%改善しました。

上水・井水の使用量の推移





環境配慮製品の開発

省エネに貢献し、環境にやさしい 「プレミアムRXプラグ」

世界初の新素材“ルテニウム配合中心電極”と“白金チップ突き出し+オーバル形状”外側電極を採用し、抜群の着火性と低燃費を実現。環境性能などのトータル性能を極めた次世代プレミアムプラグです。

オーバル形状
外側電極

プレミアムな
性能を実現した
新設計！

白金チップ
突き出し

ルテニウム配合
中心電極



燃費向上

JC08モード燃費
(km/l)



一般プラグ



プレミアムRXプラグ

燃費
2.2%UP
(当社一般プラグ比)

テスト車両：
2,400cc
使用ガソリン：
レギュラー

抜群の着火性と燃費効率により、新基準JC08モードでも、一般プラグに比べ2.2%の燃費アップを実現しました。また信号待ちや渋滞でのアイドリング状態でも、一般プラグに比べ、1.9%ガソリン消費量が少なくなります。

CO₂排出量の削減

プレミアムRXプラグは、CO₂の排出量も削減する環境にやさしいスパークプラグです。一般プラグに比べ、1年間でブナの木約2本分が吸収するCO₂※を削減できます。

※ (試算条件)年間走行5,000km/二酸化炭素排出係数2.31kg-CO₂/L-gasoline(環境庁「二酸化炭素排出量調査報告書」)/ブナの木1本が1年間に吸収するCO₂量11kg-CO₂/年(独立行政法人森林総合研究所試算)

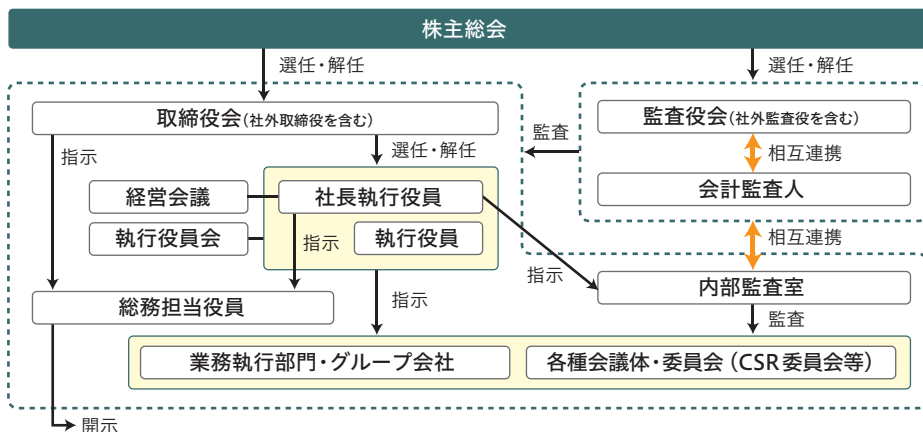
コーポレートガバナンス

社外取締役を選任し、コーポレートガバナンスを強化

当社は、真のグローバル企業になることを目指し、コーポレートガバナンスのさらなる強化に取り組んでいます。その一環として、2013年6月には当社初となる社外取締役

を選任しました。社外取締役は取締役会に出席し、グローバル企業での豊富な経験や高い見識に基づいて適宜意見を述べています。

コーポレートガバナンス体制



コンプライアンス

模倣品撲滅に向けた取り組みを推進

NGKスパークプラグの模倣品が新興国などを中心に蔓延しています。ユーザーの安全確保と当社ブランドの保護のため、各国の警察や税関と協力し、模倣業者の摘発や模倣品の廃棄処分に取り組んでいます。また、政府機関や業界団体などと連携して模倣品撲滅に向けた啓発活動にも積極的に参加しています。

UAEでの
模倣品撲滅
セミナーに参加！



取締当局向けセミナー（UAE）

リスクマネジメント

ハイライト

従業員の安全確保と早期復旧を目的に 防災訓練を実施しています

2013年11月に、大規模地震の発生を想定した全社一斉防災訓練を実施しました。また、2014年2月には、BCM(Business Continue Management:事業継続マネジメント)の一環として、BIA(Business Impact Analysis:事業影響度分析)に基づき、電気・電話・ガス・水道などの社内インフラ、および事業部の重要な設備を早期復旧させる訓練を実施しました。

万一の災害に
備えて
全社で訓練を
実施！



早期復旧訓練



訓練結果の報告を受ける中央緊急対策本部

訓練担当者の声

グループ全従業員の 防災活動参画を推進しています

2013年4月に、全従業員に『職場の防災ハンドブック』を配布し、職場での教育を実施しています。また、『地震対策サバイバルカード』を配布し、大地震に遭遇したらカードに従って行動し、自身の安全を確保してもらうよう、啓発にも注力しています。

総務部 会田 祐樹



地震対策サバイバルカード

職場の
防災ハンドブック

(製作にあたって)

本報告書を構成する資材(用紙、インキなど)の購入および印刷は、ISO14001の認証を取得した会社で行いました。また、使用した資材(用紙、インキなど)は、カドミウム、鉛、六価クロム、水銀、ポリ臭化ビフェニル(PBB類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル(PBDE類)を含有していません。

刷 版: CTP(Computer To Plate)方式を採用しました。これによりフィルム、フィルム製作に伴う現像液、定着液が不要となり、省資源と廃棄物の発生を抑制しました。

インキ: VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロインキを使用し、VOCの発生を抑制しました。また、このインキは印刷インキ工業連合会の自主規制である「印刷インキに関する自主規制(NL規制)」にも準拠しています。

印 刷: 湿し水を使用しない水なし印刷方式を採用しました。これにより、揮発性有機溶剤(イソプロピルアルコール)は使用していません。

用 紙: この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。



【対象期間】

2013年4月1日から2014年3月31日

ただし、活動、事例等については、直近のものも含みます。

【対象組織】

● 社会側面：日本特殊陶業株式会社

ただし、国内外子会社の活動等を含む場合があります。
その場合、個別に記載しています。

● 環境側面：日本特殊陶業グループ

- ・ 日本特殊陶業株式会社
- ・ 国内の子会社9社および関連会社1社

【発行責任者】

代表取締役社長 尾堂真一

【編集責任者】

CSR推進室長 鵜飼床志

【発行時期】

2014年8月(次回2015年8月予定)

※ ご不要となった際は、古紙リサイクルにお出しください。

日本特殊陶業株式会社

〒467-8525 愛知県名古屋市長区瑞穂区高辻町14-18

<http://www.ngkntk.co.jp>

(お問い合わせ)

CSR推進室

TEL:052-872-6248 FAX:052-872-5999

e-mail: csr@mg.ngkntk.co.jp

